

< 1 > 国内大会の取り組み

1. JMO 予選の実施

(1) 予選の実施方法と結果

- ・ 応募受付期間：6 月 1 日～10 月 31 日
- ・ 試験：2019 年（平成 31 年）1 月 14 日（成人の日）に、全国 78 会場にて実施した。
応募者数は 4,423 名（昨年より 8 名増）で、当日は 4,108 名の生徒が参加し、13 時から 16 時の 3 時間で 12 問の 問題に挑戦した。
- ・ 結果：受験者のうち、304 名（予選免除者 1 名を含む）が JMO 本選に進む予定となった。そのうち、中学生は 20 名であった。

(2) 参加者 4,108 人の在籍校種・学年の内訳

学校：高校 638 校、中学校 37 校、小学校 1 校

学年：高校 3 年 31 名、高校 2 年 2,153 名、高校 1 年 1,842 名（高校生計 4,024 名）

中学 3 年 65 名、中学 2 年 9 名、中学 1 年 1 名（中学生計 75 名）

小学 5 年 1 名、その他 6 名 <男 3,319 名、女 789 名>

(3) 地区表彰の実施

16 地区（JJMO は 15 地区）で、A ランクと合わせて応募者の 1 割程度を表彰した。A ランク賞受賞者には賞状と楯を、地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。なお、A ランク者 303 名、地区表彰者 210 名であった。

(4) その他

5 月には、募集要項と財団通信を、全国の過去 3 年間応募があった高等学校・中等教育学校に、募集要項を、前年度の個人申込者に送付した。9 月には財団通信を、応募があった学校に送付した。更に、11 月には高校生用教材「math OLYMPIAN」を、応募者全員と一括申込があった学校に送付した。

2. JJMO 予選の実施

(1) 予選の実施方法と結果

- ・ 応募受付期間：6 月 1 日～10 月 31 日
- ・ 試験：2019 年（平成 31 年）1 月 14 日（成人の日）に、全国の 67 会場にて実施した。応募者数は 3,045 名（昨年より 197 名減）で、当日は 2,819 名の生徒が参加し、13 時から 16 時の 3 時間で 12 問の問題に挑戦した。
- ・ 結果：受験者のうち 135 名が JJMO 本選に進む予定となった。

(2) 参加者 2,819 名の在籍校種・学年の内訳

学校：中学校 344 校、小学校 11 校

学年：中学 3 年 1,216 名、中学 2 年 982 名、中学 1 年 610 名、

小学生 11 名（6 年 2 名、5 年 5 名、4 年 3 名、2 年 1 名）

<男子 2,279 名、女子 540 名>

(3)地区表彰の実施

15 地区（JMO は 16 地区）で、応募者の 1 割程度を目安にし、330 名を表彰した。表彰状を各学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。

(4)その他

5 月には、募集要項と財団通信を、全国の過去 3 年間応募があった中学校に、募集要項を、前年度の個人申込者に送付した。9 月には、財団通信を、応募があった学校に送付した。更に、11 月には中学生用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」を、応募者全員と一括申込があった学校に送付した。

3. JMO 本選の実施

(1) 本選の実施方法と結果

2019 年（平成 31 年）2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 12 会場（札幌、弘前、仙台、秋田、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、宮崎）で実施した。当日は、予選合格者 304 名（予選免除者 1 名を含む）のうち、299 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、23(1)名で、このうち 19(0)名が代表選考合宿に参加した。

（ ）は女子の人数で内数

(2) 参加生徒の学年別人数 （ ）は女子の人数で内数

高校 3 年 6(1)名、高校 2 年 154(4)名、高校 1 年 118(11)名

中学 3 年 17(1)名、中学 2 年 3(1)名、その他 1(0)名

4. JJMO 本選の実施

(1) 本選実施方法、会場

2019 年（平成 31 年）2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 10 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、宮崎）で実施した。

当日は、予選合格者 135 名のうち 131 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、12(0)名で、このうち 5(0)名が代表選考合宿に参加した。

(2) 参加生徒の学年別人数 （ ）は女子の人数で内数

中学 3 年 70(1)名、中学 2 年 43(3)名、中学 1 年 18(2)名

5. EGMO2019 ウクライナ大会に向けた国内選抜

(1) EGMO 一次選抜実施方法

・ 応募受付期間：6 月 1 日～8 月 31 日

・ 試験：11 月 18 日（日）に、全国 5 会場（札幌、仙台、東京、大阪、福岡）で実施した。応募者 78 名中、65 名が参加し、13 時～17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑

戦した。

- ・結果：受験者のうち 11 名が合格となり、平成 31 年 1 月 14 日に実施する JMO の予選の結果と合わせて、日本代表選手を選抜することになった。

(2) JMO 予選における結果と EGMO 日本代表の選抜

当日は、合格者 11 名全員が JMO 予選に参加した。

JMO 予選結果と EGMO 一次選抜の結果を基に、EGMO ウクライナ大会の日本代表 4 名を選抜した。

< 2 > 国際大会への取組と結果

★第 59 回 IMO2018 ルーマニア大会関係

(1) 事前指導

IMO 日本代表選手 6 名（高校 3 年 4 名、高校 1 年 2 名）に対して、2018 年 5 月 4 日から 5 月 6 日に、国立オリンピック記念青少年総合センターで強化合宿を行うとともに、4 月から 6 月の間に 4 回の通信添削指導を行った。更に、7 月 6 日に直前学習会を行った。

- ①実施体制：理事長の指揮のもとに、JCIMO 委員会指名チューターが中心となって、指導者、出題者、添削者等を決定した。

②取組内容

- ・強化合宿については、各国際大会と同じ時間配分で、同程度の問題を出題して解答させ、チューター 6 名が解説を行った。
- ・通信教育については、7 名のチューターが、問題の作成・添削等を行い、指導に当たった。
- ・直前学習会については、羽田空港国際線ターミナル有料待合室にて、チューター 2 名が、試験問題への取り組み方、答案の書き方、心構え等を、IMO 通信添削（第 4 回）の解答・解説を行いながら指導した。また、副団長から大会参加に当たっての諸注意を行った。

(2) IMO2018 ルーマニア大会（7/3~7/14）の結果

役員 6 名、選手 6 名（高校 3 年 4 名、高校 1 年 2 名：全員男子）が参加し、金メダル 1、銀メダル 3、銅メダル 2 を獲得した。

なお、大会全体の受賞者数は、594 名中、金メダルが 48 名、銀メダルが 98 名、銅メダルが 143 名であった。

国別成績では、日本は 107 ヶ国・地域中、第 13 位であった。

★第 7 回 EGMO2018 イタリア大会関係

(1) 事前指導

昨年度、EGMO2018 イタリア大会・日本代表選手 4 名（高校 2 年：2 名、高校 1：1 名、中学 3 年：1 名）に対して、2018 年 3 月 20 日から 3 月 22 日に、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて強化合宿を行うとともに、1 月と 2 月に 2

回の通信添削指導を行ってきたが、今年度は、4月8日に直前学習会を行った。直前学習会では、今回の団長およびオブザーバーのチューター3名が、試験問題への取り組み方、答案の書き方、心構え等を指導した。また、副団長から大会参加に当たっての諸注意を行った。

(2) 第7回 EGMO2018 イタリア大会 (4/9~4/15) の結果

役員5名、選手4名(高校3年2名、高校2年1名、高校1年1名)が参加し、金メダル1、銀メダル1、銅メダル1を獲得した。

なお、大会全体の受賞者数は、195名中、金メダルが17名、銀メダルが39名、銅メダルが52名、優秀賞が45名であった。

国別成績で、日本は51ヶ国・地域中、第12位であった。

(3) 第8回 EGMO2019 ウクライナ大会日本代表選手に対する事前指導

2019年1月と2月に通信添削指導を行うとともに、3月19日から3月21日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、強化合宿を行い、スキルアップを図った。

①実施体制

・理事長の指揮のもとに、JCIMO委員会指名のチューターが中心となって、指導者、出題者、添削者等を決定した。

②取組内容

・強化合宿については、例年の国際大会と同じ時間配分で、同程度の問題を出題して解答させ、チューター4名が解説を行った。

・通信添削については、4名のチューターが、問題の作成・添削等を行い、指導に当たった。

★APMO (第31回 APMO 第15回国内大会) 関係

(1)実施方法

第31回 APMO 第15回国内大会は、2019年の3月、太平洋を挟んで西側各国は3月12日(第2火曜日)、東側の各国はその前日に、同時にコンテストを4時間で実施した。なお、この結果は、主催国(メキシコ)でまとめられて、6月に各国へ送付される。

① 実施日時及び会場

2019年3月12日(火)9時~13時、東京、名古屋、大阪の3会場で実施した。

参加生徒：有資格者37(2)名のうち、32(1)名が参加した。

内訳は、高校3年12(1)名、高校2年12(0)名、高校1年8(0)名

日本代表選手：10(0)名

内訳は、高校3年5名、高校2年1名、高校1年4名 (全員男子)

(注) 学年は、2019年3月現在。

②昨年度(2018年)の第30回 APMO の結果

39ヶ国・地域から352名が参加し、日本選手は、金賞1、銀賞2、銅賞4、優秀賞3を受賞した。国別成績は3位であった。また、全体の受賞者数は、金賞12、銀賞43、

銅賞 109、優秀賞 124 であった。

因みに、2017年の第29回APMOの結果は、39ヶ国・地域から353名が参加し、日本の成績は金賞1、銀賞2、銅賞4、優秀賞3を受賞し、国別成績は4位であった。

< 3 > 研究・育成事業、その他

1. 夏季セミナーの実施

(1) 実施時期及び場所

2018年8月19日(日)～25日(土) 山梨県・清里高原(ヴィラ千ヶ滝)

(2) 研修への参加者

- ・人数：26名(男子24名、女子2名)
- ・学年構成：高校3年7(1)名、高校2年6(0)名、高校1年10(1)名、
中学3年2(0)名、中学2年1(0)名 < ()内は女子の人数>

(3) 参加生徒の選抜方法

第28回JMOの本選入賞者、第16回JJMOで代表選考合宿(春の合宿)参加者、第7回EGMO日本代表選手の中で参加を希望する者、及び、一般公募の応募者から選抜した。因みに、一般公募からは9名が選抜された。

(4) 取組の実施体制

理事長及びJCIMO委員長の指揮の下に、JCIMO委員会で指名されたチューターの中の2名がオーガナイザーと副オーガナイザーとなり、準備から合宿研修期間を通して運営管理をした。講師として、外部から大阪大学の准教授、名古屋大学の助教を招待して講義を頂いた。

また、IMOメダリストのOB、OG等、チューター10名の指導の下、7班に分かれて数学書を講読した。

2. 問題調整会議の実施

9月～11月の週末ごとに、問題選定の会議を10回実施した。

3. 代表選考合宿、及び表彰式

(1) 実施時期及び会場：2019年3月21日(木)～26日(火)

国立オリンピック記念青少年総合センターで実施

(2) 合宿参加生徒：24名(全員男子)

構成：高校2年12名、高校1年7名、中学3年2名、中学2年3名

(3) 実施体制

JCIMO委員長の指揮の下、チューター18名が指導にあたった。

(4) 実施内容

IMOコンテスト本番と同じ形式の試験4回(各回4時間半・3問の記述式問題)と講義1回、演習2回(各回2～3時間)実施した。

(5) 表彰式

2019年3月21日(木)15時00分～16時30分で、JMO、及び、JJMOの表彰式

を行った。表彰者は、JMO23名、JJMO12名であった。

来賓として、株式会社東京出版編集部長 勝又健司様、JST 理数学習推進部才能育成グループ調査役 岡田啓一様にご出席頂いた。また、文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課 塩崎正晴様よりご祝辞を頂戴し、守屋常務理事が代読した。

4. 機関誌・新教材の発行

(1) 財団通信：No.55 (5/15)、No.56 (9/15)

No.55 では国内大会の結果を、No.56 では国際大会の結果を中心にそれぞれ 27,000部、28,000部を作成し、5月に過去3年間応募のあった高等学校 870校、中学校 601校に送付した。更に、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の一斉発送により、9月に全国の高等学校約 1,300校、中学校約 60校、中等教育学校約 50校、教育委員会関係約 280ヶ所、等に配布して PR に務めた。

(2) 先進的科学技術学習用カリキュラム新教材の発行 (年1回発行)

①高校生用教材「math OLYMPIAN」 No.66 (10月) 5,000部

②中学生用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」 No. 42 (10月) 3,900部

5. 役員会等の実施

(1) 理事会・評議員会

平成 30 年 5 月 20 日 (日) 第 1 回理事会：13 時 30 分～15 時 40 分

<内容> 平成 29 年度事業報告、収支決算報告 等

平成 30 年 6 月 10 日 (日) 定時評議員会：13 時 30 分～15 時 20 分

<内容> 平成 29 年度事業報告、収支決算報告、定款の見直し、理事・監事の選任等

平成 30 年 6 月 10 日 (日) 第 2 回理事会：15 時 30 分～16 時 10 分

<内容> 新三役の選出、IMO2023 日本大会実行委員会会則等

平成 30 年 6 月 28 日 (木) 文書による臨時理事会

<内容> 理事長の退職金、新理事長の役員報酬について

平成 30 年 11 月 13 日 (火) 文書による臨時理事会

<内容> 標準手当・謝金計算書の一部改定について

平成 31 年 3 月 3 日 (日) 第 3 回理事会：13 時 30 分～14 時 50 分

<内容> 平成 31 年度事業計画・収支予算、役員報酬、理事交代、JCIMO 委員の選任等

平成 31 年 3 月 3 日 (日) 臨時評議員会：15 時 00 分～16 時 30 分

<内容> 平成 31 年度事業計画・収支予算、理事交代、役員報酬等

(2) JCIMO 委員会

平成 30 年 4 月 1 日 (日) 13 時 30 分～14 時 30 分

<内容> IMO ルーマニア大会日本代表選手・代表団の決定、チューター決定等

平成 31 年 1 月 27 日 (日) 13 時 30 分～14 時 10 分

<内容> EGMO ウクライナ大会日本代表選手・代表団の決定等

6. その他

(1) ポスター（2019年用）の作成

JMO用：A3版 16,000部、A4版 9,500部

JJMO用：A3版 2,000部、A4版 16,000部

(2) パンフレットの作成

2019版を、PR用として400部作成した。